

” 2012年度 桂川・相模川流域協議会 相模川湘南地域協議会事業報告”
相模川の上流 山梨県東部の水源域を知ろう！

2013年3月24(日) 7:00~18:30
 小菅村源流ツアー 実施報告:中門吉松

-相模川、多摩川の源流域 小菅村・上野原市・大月市を訪ねて-

川と自然環境をを愛し、一緒に活動している会員及び活動を支援して頂いている方と相模川の現状を知るツアーを前年に続き開催しました。今回は小菅村～山梨県東部の現状について、倉橋代表幹事から豊富な知識と経験を元に詳細に説明され、大変有意義な学習会となった。



”源流の小菅村までの山梨県東部地図”
 代表が事前配布した地図が参考になりました



”小菅村長作観音堂前で全員の記念写真”
 観音堂と観音様はいつも小菅村を見守っています



”ガイドと相模川学習会中の峯谷代表”
 相模川整備計画の市民検討課題を説明中



小菅川の源流、林道-大菩薩峠線の途中にある白糸の滝

白糸の滝に向かう林道



山肌から源流の一滴



36mの高さから落下
 白糸の滝

鶴峠を源とする鶴川は大月で桂川に合流し相模川と名を変えて神奈川県民の命の水となり、一方で大菩薩妙見を源とする小菅川が多摩川と名を変えて首都圏を潤し東京湾に注いでいます。人口800人の小菅村は当に首都圏の源流郷であり”小菅の湯”は憩いの場となっている。

深城ダムは山梨県で5番目の平成17年3月に完成した多目的ダムで、洪水調節、既得用水の安定確保、河川環境の保全、水道用水確保のために建設され、平成24年よりダム放流水を利用した水力発電も開始され最大で500軒の電力を賄うことができる。

”小菅の湯は、お肌つるつる「美人の湯」

”風呂へ続く廊下は「宛ら美術館」

”露天、五右衛門風呂など九つのお風呂”



露天風呂

”深城ダム湖を眺める母子の会話は？”
「お水いっぱいあるね」…「これはダムというんだよ」

”昨年4月完成したばかりの小水力発電”
放流水の内1トンを活用、43mの落差利用

”最大出力340KW、年182万KW発電可能”
一般家庭500戸分の消費電力相当、東電に売電



ダムの水を有効活用した
水力発電を行っています

現在の発電電力

8.88 kW

山梨県企業局

桂川の深い溪谷に掛かる『甲斐の猿橋』は、岩国の錦帯橋・木曾の棧(かけはし)と並び日本の3奇橋として多くの方に親しまれています。他にも平成9年9月16日文化財登録された『八ツ沢発電所一号水路橋』も見ることができる絶景の地です。…【八ツ沢発電所一号水路】1912年(明治45)年竣工駒橋発電所で利用した水を下流にある上野原八ツ沢地区の発電所で有効利用するために架けられた水路

”名勝 猿橋”

江戸時代には大月市内に甲州四十五宿の内、十二宿があり猿橋もにぎわったことでしょう…

”名勝 猿橋全景”

長さ31m、幅3.3m橋脚を使わずに両岸から張り出した4層のはね木で橋を支えている。発想が凄い！

”八ツ橋発電所一号水路橋”

昭和7年に猿橋と周囲の自然景観との素晴らしい調和により、国の名勝に指定されている。



”桂川清流センター見学”

休日にも関わらず丁寧に説明して頂けた。

”説明を聞く参加者のみなさん”

相模川上流の下水処理は興味深く聞き入った。

”管理棟の中央監視室”

24時間体制で集中管理を行う頭脳役を担う。

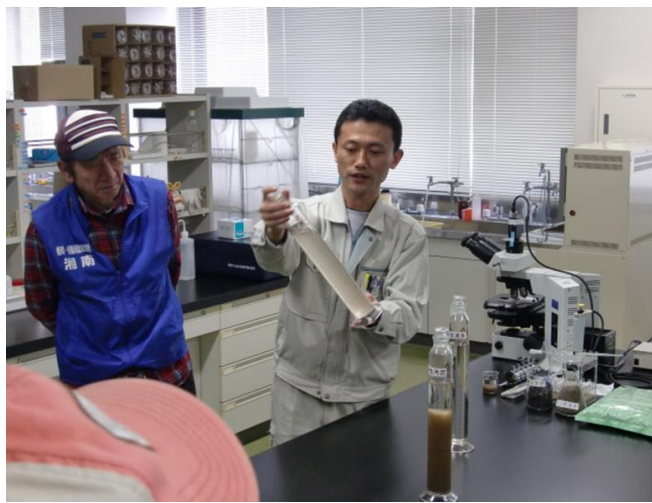


神奈川県水源環境税の「第2期実行5か年計画」の事業として『相模川水系上流域対策の推進 ②生活排水対策』として桂川清流センターにおいて、リン削減効果のある凝集剤による排水処理を両県(山梨・神奈川県)が共同事業として実施することになっている。
この対策による設備稼働は平成26年度になるとのことであったが、桂川流域での下水道処理の現状を知ることができ、大変有意義であった。
休日にも関わらず丁寧に説明・対応して頂いた清流センターの職員の皆さまに感謝します。

”水質検査室で説明を受ける”
参加者の皆さんからも多くの質問が飛ぶ。



”処理前後の水質を紹介”
汚泥に微生物の入った活性汚泥を混ぜ、空気を吹き込んで、汚れを沈みやすくして処理しています。



”最初沈殿池を覗き込む”
汚水をゆるやかに流して、小さなゴミや泥を沈めています。ここでは異臭が鼻を突きます。



”最終沈殿池”
分解して沈みやすくなった有機物を沈めて、処理した水と汚泥にわける。身を乗り出しても異臭がない。



”見学を終えた帰りの車中”
『源流ツアー』を終えた参加者の皆さんの笑顔。新たに5名の方が入会されました。…感謝…



”山肌からしみ出した相模川の一滴”
♫にもう一度、支流で見た感動の一滴を届けます。

